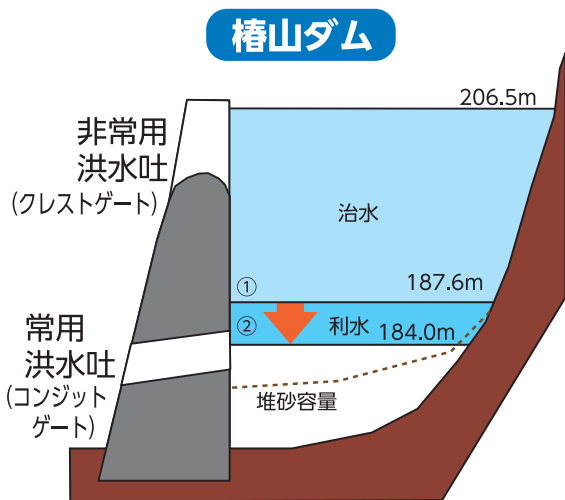


椿山ダムからのお知らせ

(椿山ダムの運用が変わります)

平成23年の台風12号の記録的な大雨により、県営の椿山ダムでは貯水位が満水付近に達し、流入量とほぼ同量の放流（ただし書き操作（p4参照））を実施せざるを得ませんでした。今後台風12号のようなダムが満水になるような大雨が予測されるときには、あらかじめ発電用に貯めた部分（利水部分）の水位を低下させ（事前放流）、下流の洪水被害軽減を図ります。



【容量配分図（洪水期6/16～10/15）】
 ※概念図であり、縮尺や縦横比等は異なります。
 ※茶色の点線は、現状の堆砂面です。
 ※水位は、標高表示です。

事前放流に伴うお願い

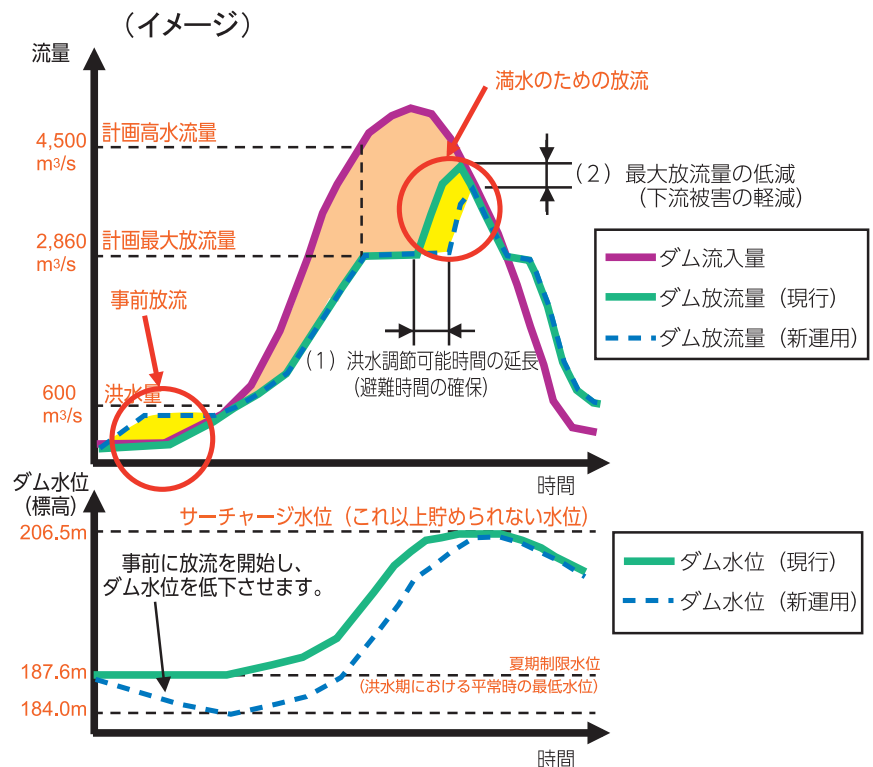
- 雨が降っていないときに放流を開始することがあります。
- 警報局のサイレンや警報車からの放送があったときは川に近づかないでください。
- 今後、ダムが満水になるほどの大雨となる可能性があります。気象情報や市町、ダムからの情報に注意してください。

現行：夏場は①まで水位を下げ、治水の部分を空にして大雨に備えています。

新運用：ダムが満水になるような大雨が予測されるときは、あらかじめ②まで水位を低下させます。

期待される治水効果（下記イメージ図参照）

- (1) 事前放流により貯められる量が多くなるため、より長く洪水調節（p.4参照）を行うことができます。
- (2) 事前放流により、貯められる量が多くなるため、最大放流量を低減できます。



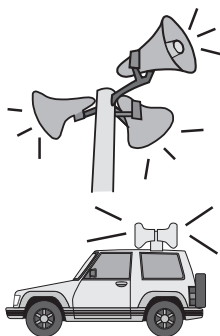
注意事項

- ※新運用により期待できる治水効果には限界があります。避難行動等をあわせた防災対策をお願いします。
- ※異常洪水の予測が雨の降り出し後、下流河川の水位が高くなった後の場合等は、事前放流ができない場合があります。

ダムからの放送内容

ダムから放流を開始する時は、日高川沿いにある警報局、警報車により警報活動を行っています。
事前放流を実施するときは、下記のような放送を行います。

事前放流時（異常洪水が予測されるとき）



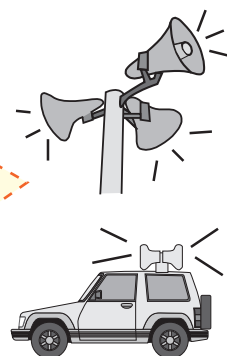
こちらは椿山ダムです。
今後ダム上流で異常な洪水が予測され、事前に椿山ダムの水位を下げるため、**放流を開始** します。
河川の水位が急に高くなる恐れ があります。
危険ですから河原におりないでください。
今後洪水の増加に伴いダムが満水になる恐れがあります。
市町からの情報、ダムからの情報に十分注意してください。

計画の規模を超える異常な洪水によりダムが満水になる恐れがありますので、

市町からの情報、ダムからの情報に注意してください。

ダム満水のための放流時（ただし書き操作に移行するとき）

こちらは椿山ダムです。
激しい大雨が続き、ダムに貯められる限界に達することが予測されるため、**本日〇〇時より、毎秒〇〇トンを上回る放流** を行います。
ダム下流では、大規模なはん濫が発生する可能性 があります。
川から離れ、市町の避難情報に注意してください。
移行時はサイレン を鳴らしますので、厳重な警戒をお願いします。



計画の規模を超える異常な洪水により大規模なはん濫が発生する恐れがありますので、

安全な場所に避難してください。

上記以外で放流を開始するとき

【警報局からの放送】



こちらは椿山ダムです。
これより椿山ダムから放流を開始しますので、河川の水位が急に高くなる恐れがあります。
危険ですから河原におりないでください。

【警報車からの放送】



こちらは椿山ダムです。
これより椿山ダムから放流を開始しますので、河川の水位が急に高くなる恐れがあります。
危険ですから河原におりないでください。
なお、最大放流量は毎秒〇〇トンの予定ですが、今後の雨次第ではこれより増量することがありますので注意してください。

※平成24年6月現在の内容（案）です。

ダムや河川の情報について

ダムの水位・流入量・放流量情報、河川の水位情報、降雨状況等については、インターネット、テレビからもご覧いただけますのでご活用ください。

和歌山県 河川雨量情報 ホームページ

PC : <http://kasensabo02.pref.wakayama.lg.jp/>

携帯 : <http://kasensabo02.pref.wakayama.lg.jp/keitai/>

【インターネット】

河川の水位の状況、ダムの水位・流入量・放流量がご覧になれます。

QRコード



現在の降雨の状況がご覧になれます。

洪水予報の発表状況
 ・現在有田川に洪水に関する警報・注意報は発表されていません。
 ・現在日高川に洪水に関する警報・注意報は発表されていません。
 ・現在古座川に洪水に関する警報・注意報は発表されていません。

【洪水予報】

河川の水位が上昇することが予測される場合に、右のような情報が発表されることがありますので、市町からの情報に注意してください。

(有田川、日高川、古座川が対象)

レベル	洪水予報の標題	発表基準	市町村・住民に求める行動
レベル5	はん濫発生情報	はん濫の発生	〔市町村〕新たにはん濫がおよぶ区域の住民の避難誘導等 〔住民〕新たにはん濫がおよぶ区域では避難を判断
レベル4 (危険)	はん濫危険情報	はん濫危険水位に到達	〔住民〕避難完了
レベル3 (警戒)	はん濫警戒情報	避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき 一定時間後にはん濫危険水位に到達することが見込まれるとき	〔市町村〕避難勧告等を判断し、状況に応じて発令 〔住民〕避難を判断
レベル2 (注意)	はん濫注意情報	はん濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき	〔市町村〕避難準備情報発令を判断し、状況に応じて発令 〔住民〕はん濫に関する情報に注意
レベル1	発表なし		〔市町村〕水防団待機

【テレビ】

テレビ和歌山、NHK（総合）視聴時にリモコンの「dボタン」でご覧いただけます。（画像はテレビ和歌山の例）

ダムの洪水調節、ただし書き操作とは？

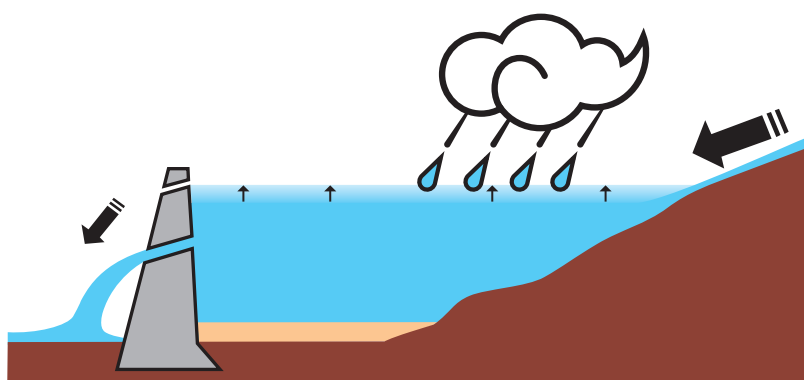
ダムによる洪水調節

○ダムでは、大雨によりダム（貯水池）へ流入する洪水の量が増えると、その一部を貯めて洪水の量を減らし放流（**洪水調節**）することにより、下流の洪水被害の軽減を図ります。

ダムが満水に近づいたら

- ダムでは、洪水の一部を貯水池に貯めることに伴い、貯水池の水位が上昇していきます。
 - 貯める量が貯水池の容量を超えるような大規模な洪水が発生し、貯水池が満水に近づいたときは、これ以上ダムで貯めることができなくなります。
 - このため、ダムへ流入する洪水の量と同じ量を放流せざるを得なくなります。（このときのダム操作を「**ただし書き操作**」または「**異常洪水時防災操作**」といいます。）
- ※この場合、流入量以上の放流を行うことはありません。

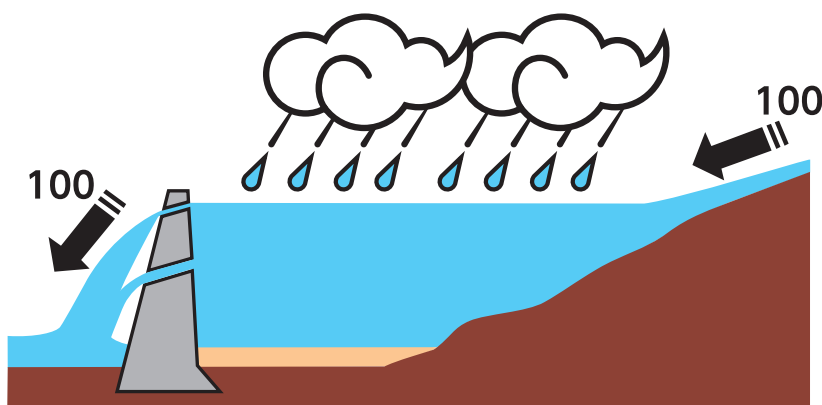
洪水調節のイメージ



ダムで洪水の一部を貯め、
下流の流量を低減させます。

流入量 (ダムに入る洪水)
↓
放流量 (ダムから流す量)

ただし書き操作のイメージ (異常洪水時)



ダムが満水に近づくと
貯水位を維持します。

流入量と同量の放流となりますが、
放流量が流入量を超えることはありません。

流入量 (ダムに入る洪水)
≡
放流量 (ダムから流す量)

この資料に関するお問い合わせ先

和歌山県 日高振興局建設部 椿山ダム管理事務所
〒644-1231 和歌山県日高郡日高川町初湯川1874 電話 0738-57-0400 F A X 0738-57-0454
和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 電話 073-441-3134 F A X 073-433-2147